

企業に求められる

GXシンポジウム

これからのGXの取組とは

省エネを実践する中小企業の経験談と、企業を取り巻くGXニーズから読み解く

2024年
2月14日(水)
13:30~17:00

場所 アットビジネスセンター
PREMIUM
新大阪 911号室 (新大阪駅前)

ハイブリッド開催・参加費無料
オンライン YouTube Live

申込方法等は裏面をご参照ください。

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、産業・業務・家庭・運輸など各部門の需要サイドにおいて徹底した省エネを進め、エネルギー消費を削減していくことが求められています。しかし、多くの中小企業等において、資金や人材・ノウハウ等の制約で計画策定や設備更新など、十分な取組に至らない課題が指摘されています。また、サプライチェーン全体における温室効果ガス排出量削減や、労働市場での脱炭素対応への意識の高まり、ESG投資の視点など、企業を取り巻く様々なステークホルダーからカーボンニュートラル実現に向けたGXの取組が求められています。

今回のシンポジウムでは、カーボンニュートラルをめぐる最新動向に関する基調講演に加え、「中小企業等による省エネ活動の更なる推進」「企業に求められるこれからのGX」の2つのテーマについて、モデレーター進行のもと、実践企業によるパネルディスカッションを通じて、今日的な企業等の省エネに関する問題意識、課題やその解決策などを紹介します。会場では、意見交換・名刺交換の時間を設けることで、事業者間の交流・ネットワークの構築も試みます。ご関心のある方はぜひご参加ください。



プログラム

第1部 GXとカーボンニュートラルの最新動向、パネルディスカッション・省エネ活動の経験談

基調講演「GXとカーボンニュートラルの最新動向ー求められる企業の対応」

東京大学 未来ビジョン研究センター 教授 … 高村 ゆかり 氏 ※この後のパネルディスカッションのモデレーターも務めていただきます。

パネルディスカッション1 省エネを実践する中小企業の経験談から、取組推進のポイントを読み解く

省エネ活動を実践する中小企業3社より取組内容とその効果を紹介いただいた後、事業者が省エネ活動を始める(さらに進める)上での方法・ポイントについて、モデレーターによる進行のもと、意見交換を行います。

パネリスト 朝日ウッドテック株式会社 CSR推進部 SDGs・環境推進室 室長 …… 坂江 哲氏
日本ワキコ株式会社 東播工場 工場長 …… 杉本 雅一氏
株式会社藤沢製本 代表取締役 …… 藤澤 佳織氏

第2部 パネルディスカッション・企業に求められるこれからのGX*

パネルディスカッション2 企業を取り巻く脱炭素の環境から、今後求められるGXの取組を読み解く

企業や金融機関などGX推進に関わるステークホルダー2者より現在の取組状況を紹介いただいた後、事業者を取り巻く脱炭素の環境と、その環境に対応するための企業によるGXの取組とは何か、モデレーターによる進行のもと、意見交換を行います。

*GX(Green Transformation) 化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動

パネリスト ダイキン工業株式会社 CSR・地球環境センター室長 …… 藤本 悟氏
株式会社滋賀銀行 サステナブル戦略室 サステナブル推進グループ長 …… 山本 卓也氏

第3部 意見交換会・名刺交換会 (16:30~会場参加者のみ)

意見交換会・名刺交換会 省エネとGX推進について話し合いませんか！

モデレーター、パネリストとともに、グループに分かれて自由に意見交換できる場を設けます。

企業に求められる これからのGXの取組とは

— 省エネを実践する中小企業の経験談と、企業を取り巻くGXニーズから読み解く —

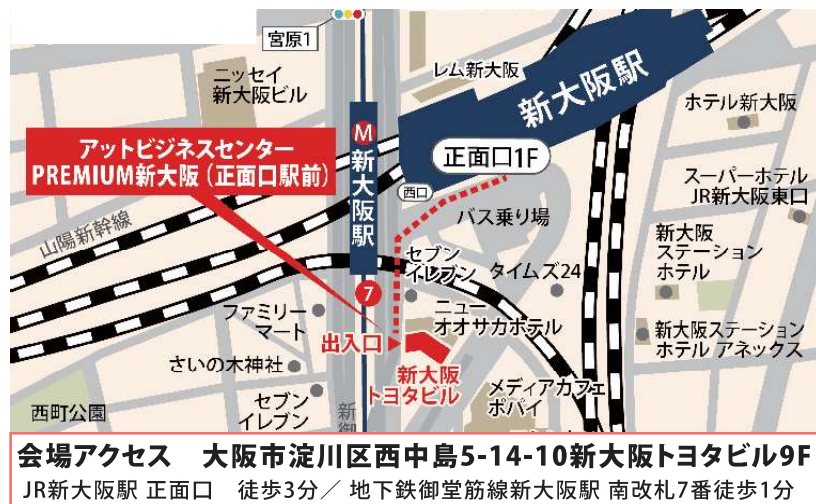
2024年2月14日(水) 13:30 ~ 17:00

アットビジネスセンターPREMIUM 新大阪 911号室

参加費無料

ハイブリッド開催

会場50*1名・オンライン*2制限なし



会場アクセス 大阪市淀川区西中島5-14-10新大阪トヨタビル9F
JR新大阪駅 正面口 徒歩3分 / 地下鉄御堂筋線新大阪駅 南改札7番徒歩1分

*1 定員50名 (先着順) *2 YouTube Live 開催 (開催前に配信アドレスを参加者へ送付します)

申込方法 (締切2月9日(金)まで) <https://kinkienergy.go.jp/sympo>

ホームページアドレスもしくはQRコードより申込フォームへ進み、必要事項を記入して下さい。



【講演者プロフィール、取組内容等】

基調講演・モデレーター：東京大学 未来ビジョン研究センター 教授 高村 ゆかり 氏

京都大学法学部卒業、一橋大学大学院法学研究科博士課程単位修得退学後、龍谷大学教授、名古屋大学教授、東京大学サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)等を経て、2019年より現職。主な研究テーマは国際環境条約に関する法的問題、気候変動とエネルギーに関する法政策など。現在、中央環境審議会会長、再生可能エネルギー買取制度調達価格等算定委員会委員長、総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員、金融審議会ディスクロージャーワーキング・グループ委員、財務会計基準機構サステナビリティ基準委員会(SSBJ)委員などを務める。



パネルディスカッション-1

朝日ウッドテック株式会社 CSR推進部

SDGs・環境推進室 室長 坂江 哲 氏

本社は大阪府大阪市。内装建材及び床下地材の製造・販売を行う。エネルギー使用状況の見える化、消費量の多い設備の運用見直し(圧縮エア設備の更新等)、使用電気の再エネ由来電力へ転換に加え、SCOPE3を含めた温室効果ガス排出量の把握・削減にも取り組んでいる。



日本ワキコ株式会社 東播工場

工場長 杉本 雅一 氏

汎用エンジン及びコンプレッサー用のアルミ合金部品の製造販売を行う。兵庫県多可郡多可町の東播工場において、省エネセンターの省エネ診断を受診し新たな改善点を発見。コンプレッサーの稼働抑制により原単位電力使用量が年平均7%の削減に成功。取組の成果を社員にも共有することで、社員の自発的な省エネ参加につなげている。



株式会社藤沢製本 代表取締役 藤澤 佳織 氏

本社は滋賀県大津市。創業より製本業を営み、現在は製造加工サポートや商品企画を行う。2021年度に省エネ診断を受診後、照明設備等のリニューアルに加え、計測機器の設置・デマンド契約による最大需要電力(デマンド値)の低減、残業や土日出勤を減らす働き方改革により、2023年7月の電気料金を前年同月と比べて4割削減に成功した。



パネルディスカッション-2

ダイキン工業株式会社

CSR・地球環境センター室長 藤本 悟 氏

2018年に「環境ビジョン2050」を策定し、2019年を基準年とし、未対策のまま事業成長した場合の排出量と比べた実質排出量を2030年に50%以下、2050年に実質排出ゼロを目指し、カーボンニュートラルの取組を実践。現在、GXリーグの「GX経営促進ワーキング・グループ」のリーダー企業を他社との共同で務める。藤本氏は1977年入社後、空調機、研究開発、技術企画、つくば研究所長を経て2007年より現職。環境製品普及、工場環境管理促進、サステナビリティレポートの編集責任を務める。



株式会社滋賀銀行 サステナブル戦略室

サステナブル推進グループ長 山本 卓也 氏

1990年代から環境経営を実践し、2009年に金融機関初の環境省「エコ・ファースト企業」に認定。環境省「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」は第1回から4年連続で受賞している。2023年1月には、中堅・中小企業による脱炭素経営を伴走支援するため、CO2排出量の可視化ツール「未来よしサポート」を日立製作所と共同開発。経済産業省「GXリーグ」にもいち早く参画し、カーボンニュートラルの実現を目指している。



*GXリーグ GXに積極的に取り組む企業群が、官・学・金でGXに挑戦するプレイヤーとともに、経済社会システム全体の改革のための議論と、新たな市場創造のための実践を行う場。経済産業省が事務局を務める

セミナー事務局 (株式会社ダン計画研究所内) TEL 06-6944-1173 E-Mail bureau@kinkienergy.go.jp

ご記入いただいた個人情報は、本シンポジウムに関する運営・情報提供、主催者のセミナー等に関する情報提供についてのみ使用いたします。